

# 令和3年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

3年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字テストで到達率60%以下の児童が約15%おり、漢字の定着に差がある。</li> <li>○読むことについては、ワークテストの得点は70%以上となっている。だが、自分の意見を発表できる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した漢字を使うようにするとともに、漢字テストを週に1回取り組むことで、漢字の定着を図る。</li> <li>○自分の考えをノートにまとめる活動を取り入れる。意見交換の機会を多く取り入れ、友達の考えを聞くことで自分の意見に自信をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の定着に差はあるが、漢字を使おうとする意識が高まってきている。漢字テストの到達率60%以下の児童も10%となった。</li> <li>○ノートに意見を書いたり、友達の考えを聞いたりすることに慣れてきた。意欲的に発表する児童も増えた。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○四方位や地図記号の定着がなされていない児童がいて地図から必要な情報を集めて読み取ることに課題が見られる。(到達率 学年平均75%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵地図作りや白地図作業など資料を扱う活動を通して、児童の思考と表現の一体化を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間の資料の活用によって、必要な情報を集めて読み取ることができるようになり、(到達率 学年平均80%) 気づきを発表し合うことができた。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の意欲が高く、ワークテストでも平均90%以上と高いが、予想や考察などの自分の考えをまとめることを課題としている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科の学習道具の扱いに慣れるとともに、自分の経験を振り返りながら予想をたてられるようにしていく。</li> <li>○実験の結果を友達と共有して、話し合う機会を取り入れることで自分の考えをもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の経験から予想をたて、得られた結果を考察して、課題を解決していく学習過程が身に付いてきた。</li> <li>○友達同士の話し合いから共通点や差異点を見出すことができるようになった。</li> </ul>

<p>体育</p>	<p>○楽しんで体を動かすことができている。しかし、周囲の安全に配慮して行動することを課題としている児童が多い。</p> <p>○投力や持久力を必要とする運動の経験が少ない児童が多い。</p>	<p>○用具の準備や片付け、活動の前に注意事項を確認することで、安全に配慮できるようにする。</p> <p>○ボールを使った運動に慣れるとともに、準備運動や走の運動を通して、体力の向上を計れるようにする。</p>	<p>○安全に配慮し、仲間と助け合いながら用具の片付けや準備を行うことができるようになった。</p> <p>○プレルボールやハンドベースボール等の運動を通して、用具の扱いに慣れることができた。</p>
<p>総合</p>	<p>○タブレットパソコンの一人一台導入が始まり、パソコンの基本的な操作と、ローマ字入力の練習に取り組んでいる。操作速度に個人差はあるものの、基本的な操作やローマ字表を見ながらの入力は、概ねできる。</p>	<p>○ローマ字入力の練習を継続することで、ローマ字表を見なくてもローマ字入力ができるようにする。</p> <p>○パワーポイントに文字入力や画像、イラスト等を挿入する活動を通じて、学習課題をまとめることができるようにする。</p> <p>○調べ学習によるいくつかの課題を設定し、yahoo や google 等の検索エンジンを使って調べ、まとめたり発表したりできるようにする。</p>	<p>○キーボードで文字を入力することに慣れてきたが、ローマ字表を見ずに入力できる児童は60%程だった。</p> <p>○写真や画像の挿入をしたり、検索エンジンを使って調べた内容をまとめたりする方法を知り、発表するときに活用することができた。</p>